

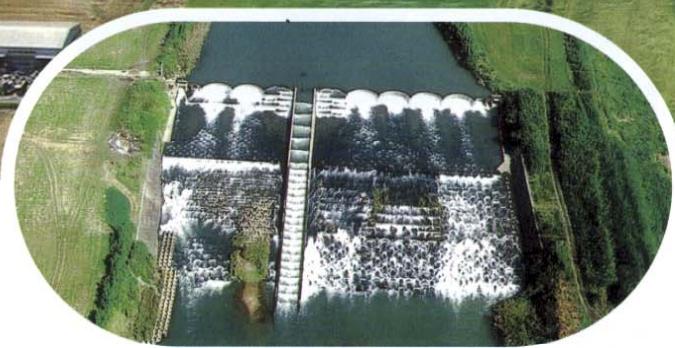


ふれあい 放水路

1999
(平成11年)
第66号
9月



上流より撮影したもの



その後、神戸川の河床が低下し取水が困難になつたため、当時の荒茅村、神西村、園村、高松村、知井宮村、不智村の6ヶ村が「神戸川用水組合」を設立して大正末期より改築を始め、現在の形になりました。

しかし、あまり頑丈ではなかつたため、洪水になると壞れたり流されたりして、修復に多大な労力と経費がかかり、当時は苦労が絶えなかつたようです。

旧堰は明治以前に建設され、現在の位置よりも上流にあって、石を積み上げただけの簡単な造りでした。川船も行き来しており、また両岸の取水には樋門を利用して水路をめぐらせていました。

現在の神戸堰は、灌漑目的に昭和三年頃に完成したもので、河口から約七・八キロメートル上流にあり、左岸に神戸樋、右岸に高松樋の二つの樋門を通して約七〇〇ヘクタールの灌漑を行い、付近の水田を潤しています。

神戸堰

放水路上流部の橋梁に着手

～馬木大橋・清水前橋改築の概要～

今月は、斐伊川放水路上流部にある、馬木大橋と清水前橋の架け替え工事について説明します。

☆新しい馬木大橋は、全長176mで、幅員（車道）は現在の5.5mと変わりませんが、歩道が設けられることになり、歩行者も安心して通行できるようになります。

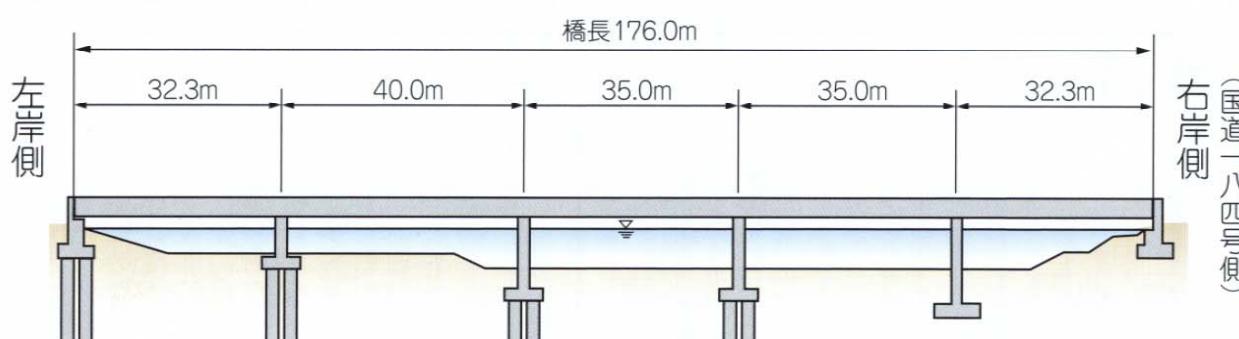
工事は今年度から着工し、平成14年度の完成を予定しています。

☆現在の清水前橋は、稗原川の拡幅にともない、橋の長さが現在の18.44mから24.5mに改築されます。

改築後は、車両の通行制限が無くなるため、大型車の通行も可能になります。

新しい馬木大橋

側面図



新しく歩道が付きます!!

橋の上流側に広い歩道が設けられることになり、歩行者にも優しい橋となります。

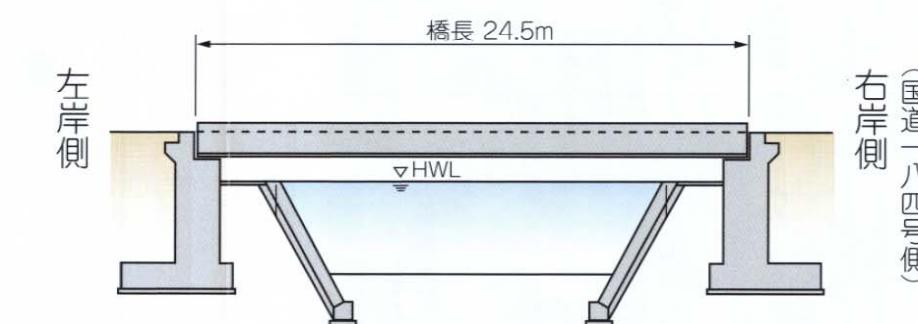
新しい馬木大橋イメージ図



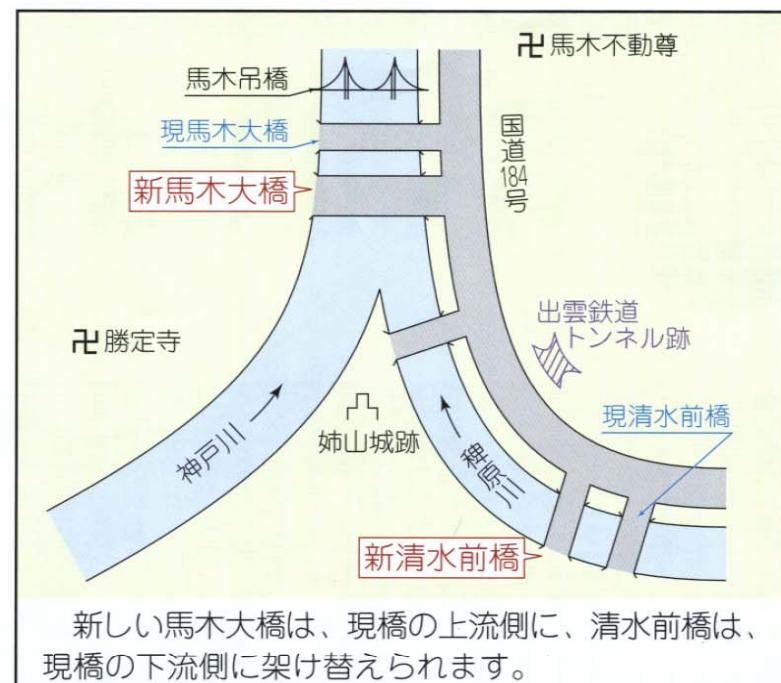
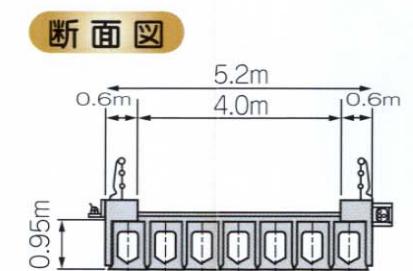
※実際は、イメージと異なる場合があります

新しい清水前橋

側面図



現在の清水前橋と幅は変わりませんが、14トン以上の車両の通行制限がなくなり、頑丈な橋へと生まれかわります。



放水路見てある記

いすもてつどう 出雲鐵道 -大社宮島鐵道-



かつて、神戸川沿いに鉄道が通っていたのをご存じでしょうか？

この鉄道は、出雲今市～出雲須佐間18.7kmを神戸川沿いに往復しており、昭和7年に運転を開始してから、主要交通手段として広く利用されていました。

しかし道路整備によって、車両による交通が主流になったため、昭和40年に廃止となりました。

現在この線路敷は、国道184号となりましたが、一部、朝山に当時を思い起こさせるトンネル跡が残っています。

勢四五名のみなさんに見学していただきましたが、参加した方がからは専門的な質問も飛び出し、文化財調査への関心の深さがうかがえました。

くために平成八
年度から毎年実
施しているもの
で、今回で四回
目となります。

八月二十一日、出雲工事事務所では、島根県埋蔵文化財調査センターと出雲市教育委員会の協力を得て、地域住民の方々を対象とした埋蔵文化財調査現場の見学会を行いました。

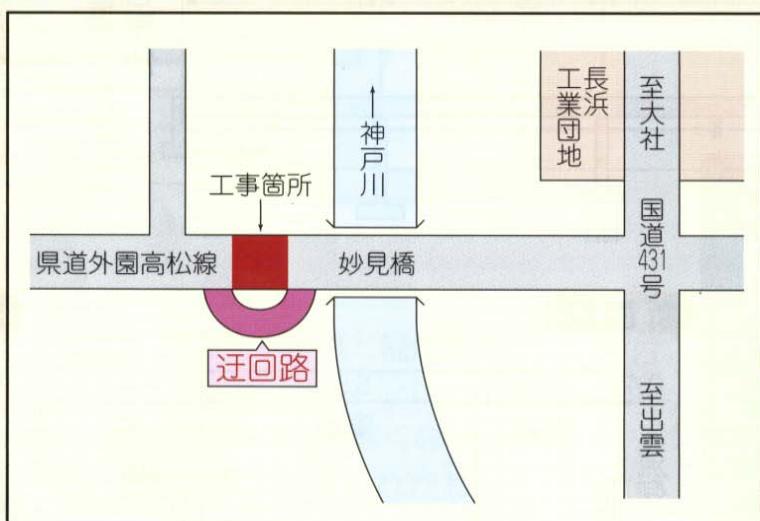


埋蔵文化財調査 現場見学会

妙見橋下部工事のため県道外園高松線が迂回路通行となりますので、通行にあたつてはご注意ください。
ご迷惑をおかけしますが、ご協力お願ひします。

*期間…平成11年11月～15年3月（予定）

迂回路のお知らせ



斐伊川放水路の工事実施状況

(平成11年8月以降の発注工事)



建設省中國地方建設局
出雲工事事務所

〒693-0023 出雲市塩治有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850
E-mail:izumo@cg.moc.go.jp
<http://www.cg.moc.go.jp/izumo/>

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。
問い合わせ先：ふれあい放水路担当
放水路工事室　事業対策官

工事名	業者名	工期
斐伊川放水路 朝山道路その3工事	(株)今岡工業	自H11年8月24日 至H12年3月20日
斐伊川放水路 妙見橋下部その2工事	(株)フクダ	自H11年8月24日 至H12年3月20日
斐伊川放水路 古志橋左岸側径間上部工事	日本橋梁(株)	自H11年9月2日 至H12年7月20日